

# 決意宣言

尼崎労働基準監督署管内における労働災害は、関係者のたゆまぬ努力により、昨年の死亡災害は一昨年の四名から二名へと大幅に減少したが、死亡災害ゼロの達成には至らなかった。休業四日以上の子害についても、一昨年に比べ減少見込みであるものの、三〇〇名以上の方々が被災している。労働衛生面では、健康診断における有所見者が過半数を超え、仕事や職場生活に関する強いストレスを感じる労働者も増加しており、労働者のメンタル面を含めた健康確保対策を強化していく必要がある。

経済情勢は、昨年の東日本大震災と原発事故の痛手から立ち直りつつあるものの、記録的な円高水準の中で、欧州の経済危機・タイの洪水の影響等グローバルな問題も多く、依然として厳しい状況が続いている。

このような状況下にあっても労働現場における「安全第一」という基本理念は不変であり、「働く人の安全と健康を最優先する」という企業風土を定着させることが重要である。経営トップの強いリーダーシップのもと、管理監督者や働く一人ひとりが組織一丸となった地道な取り組みを続けていかなければならない。

とりわけ、リスクアセスメントの定着を図るとともに、メンタルヘルス対策の充実など、安全衛生水準のさらなる向上を図ることが重要である。

我々は本互礼会を契機に全ての関係者が心を新たにし、「安全で健康・快適な職場づくり」に向けて全力で邁進することをここに誓うものである。

右、宣言する。

平成二十四年一月六日

平成二十四年尼崎労働基準協会新年互礼会